

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：特別養護老人ホーム リベラ荘

日時：平成28年 6月30日（木）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
□職員の意識などに関して考えてみてください

・居室や共有スペースの汚れや乱れが目立つ

ということについて

・きれいな環境で生活する

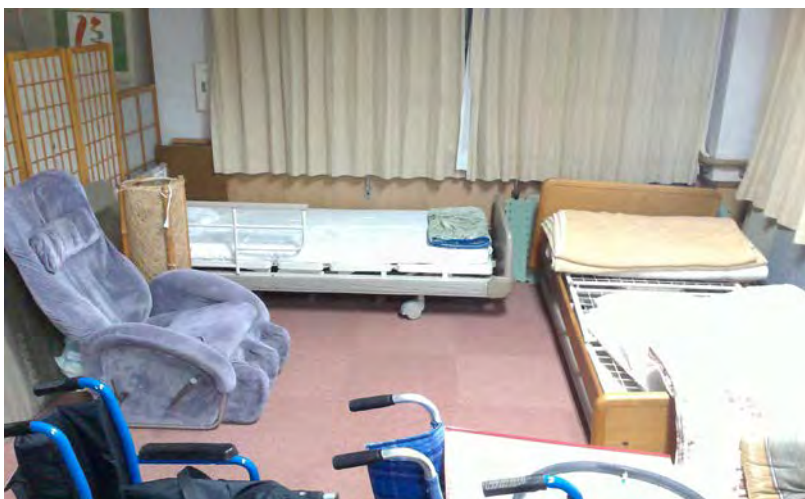
と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後



■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

□作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・居室や共有スペースが乱れており、整理整頓がされていない状況が目立っていた。

改善時の工夫、改善後の状況

・高齡福祉課で行った環境ラウンドにて、各部署での居室や共有スペースの改善事項を取り上げ、改善に向けて取り組んだ。（写真はその一例でブレイルーム。）  
・現在も継続中で、安全推進者を中心に今後も環境整備に努めていく。

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：特別養護老人ホーム リベラ荘

日時：平成28年 6月30日（木）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
□職員の意識などに関して考えてみてください

・履物について  
(軽装になることでの転倒。運転時の履物等。)

ということについて

・仕事の際、サンダル等は避け、スニーカー等の歩きやすい物を使用する様にする。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後



□4S（整理・整頓・清潔・清掃）

■危険箇所の改善  
■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・サンダルやかかとの高い靴を履いて通勤する職員が複数いた。  
(撮影時はすでに取り掛かっていた為、若干減っている状況。)

改善時の工夫、改善後の状況

・スニーカータイプやかかとの低い靴を履く様になってきている。  
・通勤用、仕事用と2足用意する職員もいた。

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：特別養護老人ホーム リベラ荘

日時：平成28年 6月30日（木）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
□職員の意識などに関して考えてみてください

・熱中症・脱水予防

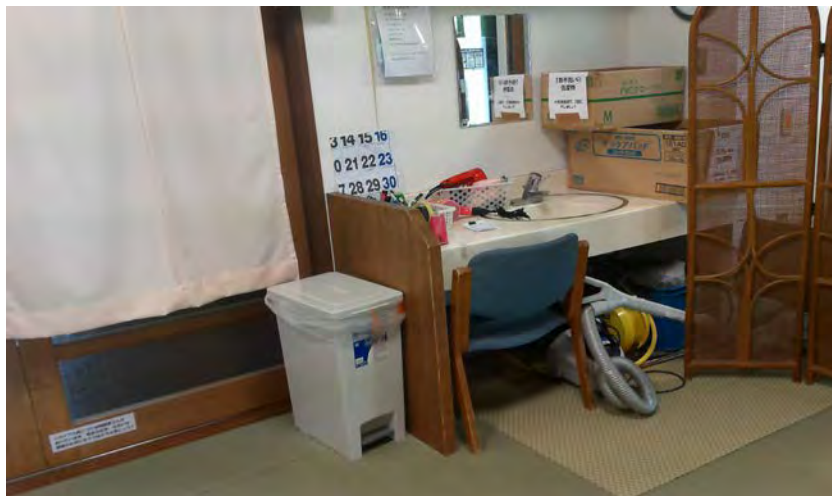
ということについて

・日々はもちろん、入浴後は特に水分補給を行う様にする。（浴室に大きな水筒を設置する。冷暖房使用時は、戸を閉め切り冷気を逃さない様にする。）

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後



■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・洗面台が活用されず、不要なものを含め物置場となっていた。


改善時の工夫、改善後の状況

・不要なものを撤去し、整理整頓をした。また、誰でも入浴後に水分補給ができる様に、麦茶のポットを設置した。

・入浴後に速やかに水分補給ができるようになった。（一度に多くは飲めない方が多いため、場所が増えたことで回数を増やすことができた。）脱水症状のある方はいなかった。



部署：高齡福祉部高齡福祉課ショートステイ係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>事業所：短期入所生活介護事業所</p> <p>日時：平成28年 7月11日（ 月 ）</p> <p><input type="checkbox"/>環境 ・ <input type="checkbox"/>方法 <input checked="" type="checkbox"/>部署内の方策</p> <p><input type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>過去最高の気温になるという情報もあり、業務中に脱水症状・熱中症になったら大変。</p> <p>ということについて</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p> <p>改善前</p> <p>※ 写真無し</p>	<p><input type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃）</p> <p><input type="checkbox"/>危険箇所の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p> <p>改善前の状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・チームでの特段の取り組めはなく、勤務者の自由。</li><li>→ リビングのコーヒーを飲む人</li><li>→ マイボトルを用意し随時水分補給する人</li><li>→ 休憩中に水分摂取する人 など</li></ul>
<p>自分用水分補給の飲料水を冷蔵庫に入れ、こまめに水分をとる必要がある。</p> <p>と思うという意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>	<p>改善後</p> 	<p>改善時の工夫、改善後の状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マイボトル持参者が増えました。</li><li>・利用者様も職員も脱水、熱中症なく経過しています。</li></ul>

部署：高齡福祉部高齡福祉課ショートステイ係 平成28年度 夏期安全推進活動

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：短期入所生活介護事業所

日時：平成28年 7月11日（月）

環境 ・ 方法 部署内の方策

職員の意識などに関して考えてみてください

エアコンを入れてもお部屋の戸を閉めることを忘れてしまったりすると、空間が冷えず、利用様も職員も暑い中で過ごしている

ということについて

事業所内の温度管理を定期的に確認しないと職員も利用者も体調を崩す可能性がある。

空間を区切って必要なところでエアコンを使用することで節電効果もある。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後



4S（整理・整頓・清潔・清掃）

危険箇所の改善

作業方法の改善

に関して

改善前の状況

温度管理に特段の定期確認等は設定していない。感覚的な暑さや蒸し具合でエアコンを入れたりしている。

→ 常に動いている職種であり、動いているので暑いなど、感覚的な部分もある。

改善時の工夫、改善後の状況

- ・各居室に冷房中のラミネートをぶら下げて空間を区切るようにしたことで、快適な気温の維持や節電につながっています。
- ・リビングの温度計を定期確認するようになりました。

# 部署：高齡福祉部高齡福祉課健康支援係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>事業所：特別養護老人ホーム リベラ荘等</p> <p>日時：平成28年 8月 31日（水）</p> <p><input type="checkbox"/>環境 ・ <input type="checkbox"/>方法 <input type="checkbox"/>部署内の方策 ・ <input type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>慢性疲労の自覚がないまま、高温多湿の環境での業務は容易に熱疲労を発症する。</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p> <p><b>改善前</b></p> <p style="text-align: center;"><b>疲れていませんか？</b> ～自分でチェックする「慢性疲労症候群」～</p> <p>「疲れていませんか？」と聞かれると、何と日本の大人の6割は「はい」と答え、年間2000億円分の栄養ドリンク剤が飲まれているんだそうです。驚くべき疲労大国ニッポン！一晩ぐっすり眠ったら、翌朝は元気回復・・・という方は安心ですが、疲労を十分リセットできないまま「慢性疲労症候群」に陥ると、ことは重大。あまりに疲労感が強いために、日常生活ができなくなってしまう。あなたは大丈夫ですか？まずはセルフチェックをしてみましょう。</p> <p><b>*こんな症状なら、慢性疲労症候群かもしれません。</b> 前提条件・・・病気がかかっているわけではないのに、日常生活が損なわれるほど強い疲労が6ヶ月以上続いている。</p> <p>症状のチェックリスト・・・以下の項目のうち、あてはまるものが8つ以上ある。</p> <table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/>頭痛</td><td><input type="checkbox"/>筋力低下</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/>関節痛</td><td><input type="checkbox"/>筋肉痛</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/>のどの痛み</td><td><input type="checkbox"/>軽い作業後、24時間以上続く全身のだるさ</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/>リンパ節の腫れ</td><td><input type="checkbox"/>もの忘れや憂鬱な気分、思考力や集中力の低下</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/>不眠や過眠</td><td><input type="checkbox"/>症状が数日の間に出た</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/>微熱(37.2～38.3℃)や悪寒</td><td></td></tr></table> <p><b>*安易な自己診断は禁物ですが、もし8つ以上の症状があるようなら、できるだけ早く専門医のアドバイスを受けましょう。</b></p>	<input type="checkbox"/> 頭痛	<input type="checkbox"/> 筋力低下	<input type="checkbox"/> 関節痛	<input type="checkbox"/> 筋肉痛	<input type="checkbox"/> のどの痛み	<input type="checkbox"/> 軽い作業後、24時間以上続く全身のだるさ	<input type="checkbox"/> リンパ節の腫れ	<input type="checkbox"/> もの忘れや憂鬱な気分、思考力や集中力の低下	<input type="checkbox"/> 不眠や過眠	<input type="checkbox"/> 症状が数日の間に出た	<input type="checkbox"/> 微熱(37.2～38.3℃)や悪寒		<p><input type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃） <input type="checkbox"/>危険箇所の改善 <input type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p style="text-align: right;">に関して</p> <p><b>改善前の状況</b></p> <p>1.疲労感はあるても、人と比べる事が出来ないため、気付かないうちに慢性疲労となり、身体症状がでてしまう。 2.高温多湿環境で体温が上がり、発汗した時、乾いたタオルで汗をふいているため、体温が下がらない。</p>
<input type="checkbox"/> 頭痛	<input type="checkbox"/> 筋力低下													
<input type="checkbox"/> 関節痛	<input type="checkbox"/> 筋肉痛													
<input type="checkbox"/> のどの痛み	<input type="checkbox"/> 軽い作業後、24時間以上続く全身のだるさ													
<input type="checkbox"/> リンパ節の腫れ	<input type="checkbox"/> もの忘れや憂鬱な気分、思考力や集中力の低下													
<input type="checkbox"/> 不眠や過眠	<input type="checkbox"/> 症状が数日の間に出た													
<input type="checkbox"/> 微熱(37.2～38.3℃)や悪寒														
<p style="text-align: center;">ということについて</p> <p>慢性疲労の自己チェックから、疲労度合の自覚と、熱疲労時、体温を下げる方法を知る必要がある。</p> <p style="text-align: center;">と思うという意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>	<p><b>改善後</b></p>	<p><b>改善時の工夫、改善後の状況</b></p> <p>1.慢性疲労自覚についてアンケート施行。慢性疲労の状態と、自分の状態は慢性疲労なのかを知ってもらった。 2.アンケート結果を配布。疲労蓄積で起こる事を知らせ、セルフケアのアドバイスをを行った。 3.発汗時、冷却したタオルを使用すると体温が下がる事を周知し実践。 4.体調不良の発症はなかった。 5.アンケート結果は、添付資料をご参照ください。</p>												

## 慢性疲労症候群についてのアンケート結果

平成28年度

1. 回収率 20/30名で67%

### 2. 項目別の数 (多い順)

物忘れや憂鬱な気分、思考力や集中力の低下-13/20名で65%

頭痛-10/20名で50%

不眠や過眠-8/20名で40%

症状が数日の間に出た-6/20名で30%

軽い作業後、24時間以上続く全身のだるさ、筋力低下-共に4/20名で20%

関節痛、筋肉痛-共に3/20名で15%

その他、喉の痛みが2名、微熱や悪寒が1名

耳鳴りや難聴症状が出たとの回答が1名

### 3. 結果から

回答のあった16/20名、約80%が何らかの慢性疲労症状を自覚していた。疲労程度は他の人と比べる事ができにくく、自覚症状があっても自分は大丈夫、これくらいは寝れば治ると、今までの経験で安易に考えがちである。自分は慢性疲労状態かも、との自覚のもと、安易な気付かないふりをやめ、自分の体調を整える努力が必要。体調不良をスルーし続けると、業務中の事故につながりやすいこと、がんばりすぎからうつ状態へ移行してしまう事などがあげられる。また、免疫力が低下することで風邪をひきやすく、治りにくくなったり、夏のお風呂介助など高温多湿環境で容易に熱疲労を起こすこともある。

11項目中、8項目にチェックが付いた人、耳鳴り・難聴症状がある人などすでに医療の対象になっている状態の人もあり、各自、今一度、セルフケアを見直す必要がある。

### 4. 自分の状態を知る事、セルフケアをしていくことについて

①自分が疲労状態であることの自覚

②生活リズムを見直す→ゆっくり入浴する、まとまった睡眠をとる、バランスの良い食事、楽しい時間を作る等、自分のリズムをつかむ

③疲れが蓄積してつらい時は、一人で抱え込まず家族、同僚、上司へ相談する勇気を持つ

④疲れている事が伝えられる職場環境、風土を作る

部署：高齡福祉部在宅支援課デイ・ヘルプ係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>事業所：訪問介護事業所</p> <p>日時：平成28年 8月26日（金）</p> <p><input type="checkbox"/>環境 ・ <input type="checkbox"/>方法 <input checked="" type="checkbox"/>部署内の方策 ・ <input checked="" type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>ヘルパーの訪問時の水分補給</p> <p>について</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p> <p>改善前</p>	<p><input type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃） <input type="checkbox"/>危険箇所の改善 <input checked="" type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p> <p>改善前の状況</p> <p>夏季の掃除支援（1時間～1時間半）で、冷房が効いていないことや、浴室等暑い環境で支援を行い、汗をかかご利用者前で水分補給がしにくい。</p>
<p>ご利用者への水分補給のお声掛けは訪問時に行っているが、ヘルパー自身の支援中の水分補給がなかなかできていなかった。</p> <p>と思うという意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>	<p>改善後</p> 	<p>改善時の工夫、改善後の状況</p> <p>①支援前後の水分補給のため、マイボトルやペットボトルの持参をした。 ②支援中も気温や状況に応じて、早めに水分を摂った。ご利用者様が近くにいる場合、一声お声掛けをし、ご利用者様にも水分補給の促しを行った。</p>



部署：高齡福祉部在宅支援課デイ・ヘルプ係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>事業所：訪問介護事業所</p> <p>日時：平成28年 8月26日（金）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>環境 ・ <input type="checkbox"/>方法 <input type="checkbox"/>部署内の方策 ・ <input type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>ご利用者宅の夏季の環境</p> <p>ということについて</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p> <p><b>改善前</b></p> <p>※ ご利用者様宅のため、写真はありません。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃） <input type="checkbox"/>危険箇所の改善 <input type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p> <p><b>改善前の状況</b></p> <p>①7月になってもこたつ、ヒーターを使用していた。 ②室内の窓を開けず閉め切っており、暑い。</p>
<p>ご自宅で、夏季になってもヒーターやこたつを使用している方がいる。または、窓を閉め切って暑さを感じない方がいる。熱中症や脱水症が心配である。</p> <p>と思うという意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>	<p><b>改善後</b></p> <p>※ ご利用者様宅のため、写真はありません。</p>	<p><b>改善時の工夫、改善後の状況</b></p> <p>①自律神経失調症のため、温度間隔が鈍くなっていた。寝室にあった温度計を居間のご本人の前に置き、目安を見て冷房の使用をお声掛けした。8月には、日中ご自分で冷房を使用して温度管理が出来ていた。 ②換気の時間を設けた。（掃除時10分など）扇風機をご本人に風が直接当たらない向きに設置し、空気循環を行なった。 ③訪問の都度水分、室温のお声掛けをした。今後も継続する。</p>

# 部署：高齡福祉部地域連携推進係 平成28年度 夏期安全推進活動

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所名：特別養護老人ホーム リベラ荘

日時：平成28年 7月11日（月）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
□職員の意識などに関して考えてみてください

■利用者 ■職員 □ご家族等 にとって

・リベラ荘2階のケアワーカー室（小屋）の  
環境調整が必要

ということについて

・適温管理や換気などによる熱中症予防が必要

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の  
改善について抽出してください

## 改善前

・改善前の写真はありません

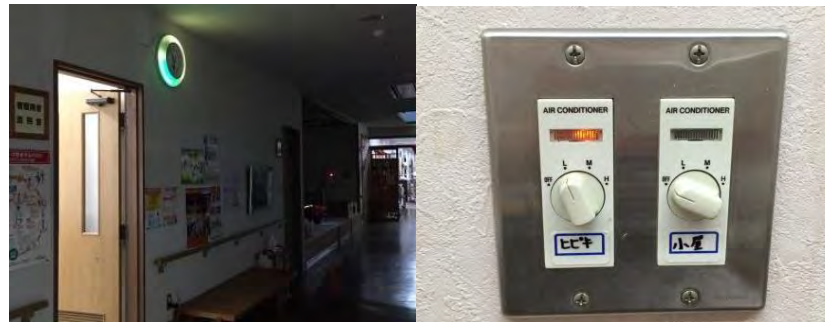
## 改善後

・小屋の中にある扇風機を活用し、室内の空気を対流させた



・医務室前の電力表示を目視

・エアコンのスイッチ



■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

□作業方法の改善

に関して

## 改善前の状況

- ・冷房の効果が座席に応じて異なる。
- ・窓がなく、職員の人数が増えると熱がこもりやすい。
- ・天窗からの太陽光による熱が伝わりやすい。
- ・空調のスイッチが近くにない（響の間の奥にある）

## 改善時の工夫、改善後の状況

- ・扇風機の活用により対流と送風効果
- ・こまめなエアコンの on/off を心がける。
- ・医務室前の電力表示を目視する習慣により、電力が Max になる前に off にすることも増えた。
- ・節電対策にもつながっている

部署：高齡福祉部地域連携推進係 平成28年度 夏期安全推進活動

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所名：特別養護老人ホーム リベラ荘

日時：平成28年 7月11日（月）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
□職員の意識などに関して考えてみてください

■利用者 ■職員 □ご家族等 にとって

・リベラ荘2階の大食堂横のテラスに苔が生えてきている。集中豪雨などの際に排水溝詰まりの要因となる

ということについて

・テラスと排水溝の清掃が必要

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前

・リベラ荘2階の大食堂横のテラス



※厚みのある多量の苔が全面に発生していました。

改善後

・テラスの苔を撤去（課長に協力いただく）



■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

に関して

改善前の状況

・テラスに苔が生えている  
・集中豪雨などの際に排水溝が詰まる要因となる。

改善時の工夫、改善後の状況

・床面の苔の撤去  
・集中豪雨の前に床と排水溝の清掃ができた。今後も清掃は継続する  
・窓の開閉時や通行の際に目視にて苔の発生状況（増えていないか）を確認することを継続している。  
・平成は増加しておらず、経過良好である。

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：ケアハウス フェリコ館

日時：平成28年 6月29日（水）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

### 「職員の熱中症予防対策」

ということについて

○地球温暖化に伴い、夏の暑さも変化している中で、猛暑などの対応策として、熱中症対策を取り入れたいと考えた。  
この意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

#### 改善前

- ・喉が渴いた時に水分を摂るような場面があった。
- ・外出の際、水分補給の機会が取れない場面もあった。

#### 改善後

- ・ステンレスボトルの持参があった。
- ・外出の行事等で意識して水分補給が出来ていた。
- ・ナトリウム入りの水分や容量の大きい物を小分けにして水補！



#### ■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

- 危険箇所の改善
- 作業方法の改善

に関して

#### 改善前の状況

- ・夏期間に起き得る事象を防止するために左記の項目について取り組む。
- ・水分補給への意識を向上することと創意工夫して予防に努める

#### 改善時の工夫、改善後の状況

- ・猛暑まではいかないが、水分補給や室温管理に工夫が見られた。今後も継続していくようにしていきたい



課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：ケアハウス フェリコ館

日時：平成28年 6月29日（水）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

「夏期期間の運転業務や通勤に関して」

ということについて

○局地的なゲリラ豪雨や炎天下の車の走行に注意が必要と考えた。

この意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

**改善前**

- ・業務中や通勤の運転には十分注意していたが、ゲリラ豪雨のような天災には関心が薄かった。
- ・炎天下での車の駐車や運転に意識することは無かった。

**改善後**

- ・必要な時に情報を収集する意識が高まった。
- ・翌日やその先の天候に注目するようになった。



■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

- 危険箇所の改善
- 作業方法の改善

に関して

**改善前の状況**


- ・夏期期間に起き得る事象を防止するために左記の項目について取り組む。
- ・天気等の情報の収集に関心があまり無かった。

**改善時の工夫、改善後の状況**


- ・テレビや携帯電話等で情報の収集に努める意識が格段に向上した。

<p>事業所：ケアハウス フェリコ館</p> <p>日時：平成28年 6月29日（水）</p> <p><input type="checkbox"/>環境 ・ <input type="checkbox"/>方法 <input type="checkbox"/>部署内の方策 ・ <input type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>「職員の食中毒予防」</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p> <p><b>改善前</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・就業中に喫食する機会は少ないが、食中毒への関心が薄かった。</li><li>・気温や湿度を見る機会が少ない。</li></ul>	<p>■4S（整理・整頓・清潔・清掃）</p> <p><input type="checkbox"/>危険箇所の改善</p> <p><input type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p> <p><b>改善前の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・夏期間に起き得る事象を防止するために左記の項目について取り組む。</li></ul>
<p>ということについて</p> <p>○就業中や自宅において、夏期間の飲食について十分な注意が必要と考えた。 この意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>	<p><b>改善後</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・就業中や自宅において、食中毒予防の6つのポイントを意識できた。</li></ul> 	<p><b>改善時の工夫、改善後の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・食中毒への意識が高まり、事象を起こすことはなかった。</li></ul>

部署：高齡福祉部地域サービス課居宅介護支援係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>事業所：居宅介護支援事業所</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p>	<p><input type="checkbox"/> 4S（整理・整頓・清潔・清掃） <input type="checkbox"/> 危険箇所の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 作業方法の改善</p> <p>に関して</p>
<p>日時：平成28年 8 月 3 日（水）</p>	<p>改善前</p>	<p>改善前の状況</p> <p>①エアコン使用すると、事業所内の温度が一定ではないため、職員によっては冷たい風を浴び続けることになってしまう。エアコンの使用をストップすると、すぐに室温が上昇してしまう。</p> <p>②午後になると西日により、一気に温度が上がってしまうが、①の状況もあり、管理が難しい。</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 環境 ・ <input type="checkbox"/> 方法 <input checked="" type="checkbox"/> 部署内の方策 ・ <input type="checkbox"/> 職員の意識などに関して考えてみてください</p>	<p>改善後</p>  	<p>改善時の工夫、改善後の状況</p> <p>①エアコンの送風口の前に仕切りを作り、風が直接あたり続けないようにした。</p> <p>②状況によっては扇風機を使用し空気が循環するようにした。</p> <p>③午後にはカーテンを早めに閉めた。</p>
<p>事業所内の温度管理</p> <p>について</p>		
<p>暑い時期になり、室内の温度の調整が難しい</p> <p>と思うという意見を採用して取り組んだ</p>		
<p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>		

部署：高齡福祉部地域サービス課中山地域係（在宅支援担当） 平成28年度夏期安全推進活動 No.1

<p>事業所：中山通所介護事業所</p> <p>日時：平成28年 7月 6日（水）</p> <p><input type="checkbox"/>環境 ・ <input checked="" type="checkbox"/>方法 <input type="checkbox"/>部署内の方策 ・ <input checked="" type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>室内外での作業・介助時に気温が高い日が増す</p>	<p>課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等</p> <p><b>改善前</b></p> <p>※写真無し</p> <p><b>改善後</b></p> <p>・ご利用の方がおやつを召し上がる際に水分補給を行えるよう、寒天ゼリーを作り、ご利用者と職員と一緒に水分補給を行えるようにした。</p>  <p>・当日、食事担当職員が、朝のうちに寒天ゼリーを作成します。</p>  <p>・ジュースやスポーツドリンクなどを煮立たせ、寒天の元を入れます。</p>  <p>・粗熱を取り、冷蔵庫で固まるまで冷やします。</p>  <p>・15時に、ご利用者と職員と一緒に頂きます。</p>	<p><input type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃） <input type="checkbox"/>危険箇所の改善 <input checked="" type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p> <p><b>改善前の状況</b></p> <p>① 各自、飲みたいときに飲んでいましたが、作業や、介助に集中し、水分補給を忘れてしまう。 ② 声かけを行うも、「大丈夫」「トイレが近くなるから」と仰り、水分補給が行えない方がおられる。</p>
<p>ということについて</p> <p>・熱中症や体調不良の可能性がある ・脱水症状が起きる</p> <p>と思うという意見を採用して取り組んだ</p>		<p><b>改善時の工夫、改善後の状況</b></p> <p>・ 毎日、同じ味にはせず、左の写真のようなアレンジを加えることで、ご利用者の楽しみも増え、習慣化するようになりました。</p>  <p>※小豆寒天です</p>
<p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>		



課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：中山通所介護事業所

日時：平成28年 7月 6日（水）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
■職員の意識などに関して考えてみてください  
蚊や蛾、害虫が庭に発生し、室内に入ってくる

ということについて

刺されてしまった場合、虫によっては、死に至る可能性がある

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善



ゴミ捨ての際に網戸を開け放してしまっていた。

前

改善後



網戸を閉めてから、捨てる。

■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ① 高温の日が続き、窓を開けておく日が多い。
- ② 蚊取り線香を玄関で使用しているが、玄関以外にも人の出入りする事が多い場所がある。

改善時の工夫、改善後の状況

- ① 害虫を発生させない環境整備を行う。戸口の開閉時は長く開けておかず、こまめに閉めることに加え、庭の草や植木を切ったものは、すぐにゴミとして処分する。長期間放置しない。洗濯物を取り込む際に虫がついていないか確認する。万が一室内に入った際は、蚊取り線香や殺虫スプレーを使用する。
- ② 上記の事を実施したことで、以前より害虫が室内に侵入することが少なくなった

# 部署：高齡福祉部地域サービス課国見地域係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>アセスメント用紙</p>	<p>課題となった場所・方法等とその改善が分かる写真</p>	
<p>事業所：国見通所介護事業所</p>	<p>改善前</p>	<p><input type="checkbox"/> 4S（整理・整頓・清潔・清掃）</p>
<p>日時：平成28年 7月 1日（金）</p>		<p><input type="checkbox"/> 危険箇所の改善</p>
<p><input type="checkbox"/> 環境 ・ <input type="checkbox"/> 方法 <input type="checkbox"/> 部署内の方策 ・ <input type="checkbox"/> 職員の意識などに関して考えてみてください</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 作業方法の改善</p> <p style="text-align: right;">に関して</p>
<p>①熱中症対策として</p> <p style="text-align: right;">ということについて</p>	<p>改善後</p> <p>「台所テーブル上に常に飲み物設置」と「浴室脱衣場にある水筒」</p>  	<p>改善前の状況</p> <p>水分摂取に関して、足りていないと思われる職員に声を掛けたり、記録などを行っているときに持っていくようにしていた。</p>
<p>①について</p> <p>水分を各自しっかり摂取する。足りていないと思われる職員には声掛けをする。</p> <p>気温の高い日や入浴介助を行う際に首に冷却剤をタオル使用して巻く。</p> <p>と思ったという意見を採用して取り組んだ</p>		<p>改善時の工夫、改善後の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自がさらに意識するようになり、入浴介助をおこなう職員が脱衣場にタンブラーやマグカップを持ち込むようになった。</li> <li>・気温が高い日は冷却剤を首に使用している職員もいる。</li> </ul>
<p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>		

アセスメント用紙

事業所：国見通所介護事業所

日時：平成28年 8月 1日（月）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

②腰痛予防について

ということについて

②について

ご利用者の介助は1人では腰を痛める可能性がある場合、無理せずに2人介助でおこなう。

ベルトの使用。1人の職員が連続して介助をおこなわないよう配慮する。

と思ったという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

課題となった場所・方法等とその改善が分かる写真

改善前



改善後



4S（整理・整頓・清潔・清掃）

危険箇所の改善

作業方法の改善

に関して

改善前の状況

ご利用者のその日の状況によって一人で介助をすると腰に負担がかかることがある。

改善時の工夫、改善後の状況

ご利用者の状態や体調によって2人での介助が必要な時には、介助に入っている職員が他の職員を呼んだり、他の職員も様子を見て必要な時に一緒に行えるようになった。



部署：児童福祉部児童福祉課保育支援係子育て相談支援係 平成 28 年度夏期安全推進活動 No. 1

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：国見ヶ丘せんだんの杜保育園

日時：平成28年 8月31日（水）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

・水遊び、プール遊び時の転倒防止

ということについて

・保育園内や前庭が濡れて滑りやすく転倒しやすい。  
保育士も子どもと一緒に入水するので子どもの安全を確保しながら保育をスムーズに進めるために転倒防止策を検討

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後



4S（整理・整頓・清潔・清掃）

危険箇所の改善

作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・保育園の前庭が濡れて滑りやすく転倒しやすい  
・保育士も子どもと一緒に入水するので子どもの安全を確保しながら保育をスムーズに進める為に転倒防止策を検討する必要がある。

- ①プールの周りや通路となるところにウレタンマットや、人工芝を敷く範囲を広げた
- ②滑り止め付の足ふきマットを用意した。
- ③リスクマネジメント委員会を中心に全体会議でプール遊びにおける注意事項、危険箇所など検討し、リストアップしたものを職員に配布。



部署：児童福祉部児童福祉課保育支援係子育て相談支援係 平成 28 年度夏期安全推進活動 No. 2

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：国見ヶ丘せんだんの杜保育園

日時：平成28年 8月31日（水）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

・給食時の主食持参の際、各自カバンで保管している。

ということについて

・菌が繁殖しやすい夏場はカバン保存ではなく何かの対策が必要。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後



4S（整理・整頓・**清潔**・清掃）

危険箇所の改善

作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・給食に主食について職員は各自持参している（ご飯、食パンなど）
- ・各自のカバンで昼食時まで保存しているので衛生的によくはない。

改善時の工夫、改善後の状況

- ①各自保冷剤を持参して、保冷剤と一緒に保管するように、全体会議で呼びかける。
- ②保管場所も涼しい場所に、保管しておくようにする。

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：せんだんの家

日時：平成28年 7月25日（月）

- 環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・
- 職員の意識などに関して考えてみてください

熱中症にならないために  
夏バテしないために

ということについて

夏をどう過ごせば良いのかを、書面にて具体的に提案し、意識を高く持てるようにする。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前

改善後



- 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
- 危険箇所の改善
- 作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・気をつけるところを各自が判断する。

改善時の工夫、改善後の状況

- ・「見える化」することにより、各自が  
仕事中や日常生活で意識するようになっ  
たため体調を崩さずに過ごせている。

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：せんだんの家

日時：平成28年 7月25日（月）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
■職員の意識などに関して考えてみてください

事業所の周りに木が多く蜂の巣を作りやすい環境にあり、木を切った際に蜂に刺される事故があり蜂の巣を除去した。

ということについて

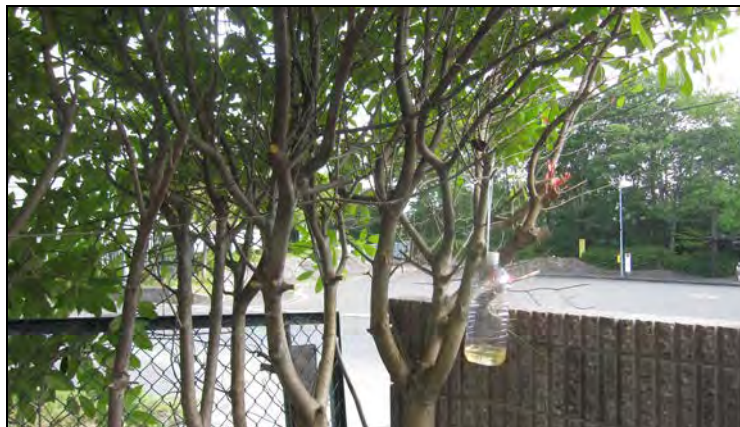
蜂の巣を作りやすい環境を作らない。  
発生した蜂を駆除する。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前

改善後



- 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
- 危険箇所の改善
- 作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・ 蜂が発生しやすい環境である。
- ・ 蜂に刺されてしまう危険性がある。

改善時の工夫、改善後の状況

- ・ 蜂の巣を除去した場所や、蜂の巣を作りやすいと思われる場所に「蜂の巣を作らせないスプレー」をして予防する。
- ・ 発生した蜂は、ハポットを設置し、駆除する。
- ・ 事業所の周りの木は、11月～3月までに、整える。

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：せんだんの家

日時：平成28年 7月25日（月）

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・  
■職員の意識などに関して考えてみてください

エアコンを清潔に保つ

ということについて

定期的にエアコンのフィルターを掃除する。  
掃除方法の見直し、共有する。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の  
改善について抽出してください

改善前

改善後



- 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
- 危険箇所の改善
- 作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・掃除方法が統一されていない。
- ・掃除をする頻度が、各自でまちまちである。

改善時の工夫、改善後の状況

- ・各居室のエアコンの使い始めの時期に使用方法と掃除方法を、説明書を確認しながら一緒に行う。
- ・毎月1日に各自掃除をしてもらい職員が確認を行う。
- ・フィルター掃除を定期的に行うことにより、エアコンを清潔に保つことが出来ている。



# 部署：児童福祉部児童福祉課障がい支援係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>アセスメント用紙</p> <p>事業所：放課後等デイサービス 遊杜家</p> <p>日時：平成28年 6月 2日（木）</p> <p><input type="checkbox"/>環境 ・ <input checked="" type="checkbox"/>方法 <input checked="" type="checkbox"/>都署内の方策 ・</p> <p><input type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>利用者、職員の夏の体調管理</p> <p>ということについて</p>	<p>課題となった場所・方法等とその改善が分かる写真</p> <p><b>改善前</b></p> <p><b>改善後</b></p>  	<p><input type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃）</p> <p><input type="checkbox"/>危険箇所の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p> <p>改善前の状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・室内に温度計はあるが、あまり活用していない。</li><li>・屋外活動において、休憩を入れずに遊ぶことが多い。（設定時間が30分程であるため）</li></ul>
<p>夏場になり水分不足や熱中症、脱水症状に注意しなければならない</p> <p>と思ったという意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>		<p>改善時の工夫、改善後の状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・午前、午後に1時間おきに室内の温度計をチェックし、室内温度を確認する。</li><li>・外遊びでは、活動前に日陰を事前に確認し、活動の合間に、休憩を入れながら水分補給を行なう機会を行う。</li><li>・活動内容によって、麦茶だけでなく、スポーツ飲料も準備する。</li><li>・職員も休憩、活動時間とメリハリをつけ、集中力をきちんと保てるようになっている。</li></ul>

部署：児童福祉部児童福祉課障がい支援係 平成28年度 夏期安全推進活動

<p>アセスメント用紙</p> <p>事業所：放課後等デイサービス 杜の子ハウス</p> <p>日時：平成28年 6月14日（火）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>環境 ・ <input type="checkbox"/>方法 <input type="checkbox"/>部署内の方策 ・ <input type="checkbox"/>職員の意識などに関して考えてみてください</p> <p>①玄関の出入り口がタイルのため濡れた時滑りやすい</p> <p>ということについて</p>	<p>課題となった場所・方法等とその改善が分かる写真</p> <p>改善前</p> 	<p><input type="checkbox"/>4S（整理・整頓・清潔・清掃）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>危険箇所の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>作業方法の改善</p> <p>に関して</p>
<p>①夏休みの水遊びの後に庭から室内に戻る時 タイルが濡れて子ども達が滑って転んでしまう危険がある。</p> <p>②梅雨時に室内に入る時歩行が不安定な子ども や職員が滑って転んでしまう危険がある。</p> <p>と思ったという意見を採用して取り組んだ</p> <p>※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください</p>	<p>改善後</p> 	<p>改善前の状況</p> <p>①タイルがむき出しになっており雨などで濡れると滑りやすくなっていた。</p> <p>②「滑るから気を付けて」とその都度声をかけて注意を促していた。</p> <p>改善時の工夫、改善後の状況</p> <p>①車椅子利用の方を駐車場から室内に移動する際に使用していたマットを利用した。マットを敷いたことで水も溜まらず滑り止めにもなり滑ってしまう危険が減った。</p> <p>②夏休みの庭での水遊び後にもマットを使用する。</p> <p>③水遊びの後に今までは玄関にタオルを置いていたため、濡れたまま玄関に来ていたが今後は庭にタオルを置き身体を拭いてから移動する。</p>

部署：総務部総務課総務・会計係 平成28年度 夏期安全推進活動

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：せんだんの杜

日時：平成28年 7月 8日（金）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

事務所はOA機器の熱などで、気温が高くなりやすい為、熱中症対策を考える

ということについて

冷房の適切な使用、熱中症の予防につながる塩アメ、スポーツドリンクなどを意識して摂取し体調管理をこころがける必要がある

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前

・室温が30度を超えることが頻繁にあった。



※事務所の温度計

改善後

・電気使用量管理のためのシステム端末写真



マイタンブラー

※イメージです

4S（整理・整頓・清潔・清掃）

危険箇所の改善

作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・高温多湿になりやすい。  
・節電の意識に傾くと、冷房を我慢しがちになる。

改善時の工夫、改善後の状況

・各自、タンブラー等を持ち寄り、保冷しながら水分補給している。  
・電気使用量管理システムで使用予測値をもとに、節電を維持しつつも、適時冷房を使用している。  
・今シーズン、脱水や熱中症による体調不良職員は現在まで出ていない。

部署：総務部総務課総務・会計係 平成28年度 夏期安全推進活動

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

事業所：せんだんの村

日時：平成28年 7月 8日（金）

環境 ・ 方法 部署内の方策 ・  
職員の意識などに関して考えてみてください

昨年度、職員が蜂に刺される事故が発生した

ということについて

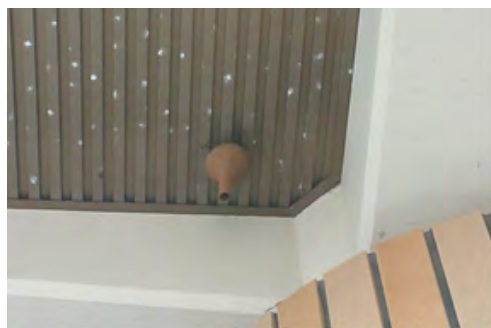
- ・ 蜂に刺される事故を防ぐため、蜂が発生しやすい場所に蜂を誘い込み駆除する「ハチ取れポット」を設置して、屋内への侵入を防止する必要がある
- ・ 駆除用のスプレーをさらに備蓄する必要がある

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前

- ・ 建物軒下などに蜂の巣ができてやすく、また建物内にも蜂が侵入しやすい状態だった。



※軒下にて発見した蜂の巣

改善後



※ハチ取れポットを各所に設置  
※毒性のない安全なものを使用



※捕獲した蜂



※追加した駆除用のスプレー

4S（整理・整頓・清潔・清掃）

危険箇所の改善

作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・ 蜂が室内に入った後、外へ逃がす、駆除用のスプレーを使用するなど、対応が後手に回りがちだった。

改善時の工夫、改善後の状況

- ・ ハチ取れポットに、スズメバチなどが獲れている。
- ・ 蜂の巣に対する職員の意識も高まり、巣の早期発見につながっている。
- ・ 今シーズン本体施設職員では蜂刺され被害はない。